



H I G A S H I Y A M A

ひがしやま 57

名古屋市東山動植物園情報誌

Summer
2021

ツシマヤマネコ

ウスイロホソオクモネズミが 来園しました

尾を除いて最大50cmにもなる世界最大級のネズミ科の動物、ウスイロホソオクモネズミが来園しました。現在、北園自然動物館で展示しています。

聞きなれない名前の動物かと思いますが、フィリピンのルソン島北部と中部にある森にのみ生息する動物で、見た目の特徴と、ほとんどの時間を木の上の高いところで生活することから、「薄色細尾雲鼠(ウスイロホソオクモネズミ)」という名前がつけられました。

一般にペアで生活することが多く、東山動植物園でもペアで仲睦まじく過ごす姿をご覧ください。

(飼育第二係 江口 雄作)



Contents

- 00** 動物園トピックス
「ウスイロホソオクモネズミが来園しました」
- 01** 動物園長のエッセイ
「東山動物園猛獣画廊壁画No.1・No.2・No.3」
- 02** 飼育レポート
「世界随一のメダカ専門水族館
「世界のメダカ館」がリニューアル!」
- 04** 飼育だより
- 06** 動物病院日誌 Vol.36
「引越しします。」
- 07** 植物園長のエッセイ
重要文化財「名古屋市東山植物園温室前館」
- 08** 植物管理人だより
「私を忘れないで」
「梅雨時の花は・・・」
- 09** 東山植物園のレッドリスト植物Vol.20
「フウラン」
- 10** 植物園
「夏の花だより」
- 11** 植物園トピックス
「洋風庭園リニューアル 装い新たな花飾り」

表紙／ツシヤママネコの赤ちゃん(生後18日目)

国の天然記念物で、長崎県の対馬だけに分布する。生息数は100頭程度と絶滅が心配されている。体全体の斑点模様、額の縞、耳裏の白斑(虎耳状斑)が特徴で、おとなは体長約50～60cm、体重 約3～5kgの大きさになる。絶滅危惧IA類。(撮影/茶谷 公一・文/内藤 仁美)

東山動物園サポーター募集中!!

動物園サポーター制度は、動物たちが豊かで充実した生活を送ることができるように、飼育環境改善や動物福祉などを資金面からご支援いただくものです。

サポーターの区分と金額	個人	大人 3,000円以上 中学生以下 1,000円以上	サポーターの方に動物や東山動物園をもっと知っていただくために…	① 動植物園情報誌「ひがしやま」をお送りします。(4回) ② サポーターの方を対象にサポーター限定イベントを開催します。
	法人・団体	10,000円以上		

個人10,000円以上、法人・団体50,000円以上で支援いただいたサポーターは、氏名、法人・団体名を園内に掲示することができます。

申込方法	① 動物園内で手続きをしていただく場合	動物会館図書室で申込書を記入の上、寄付金をお支払いください。
	② 郵便振込で手続きをしていただく場合	振込用紙をお送りしますので、動物園サポーター事務局までご連絡ください。 サポーター事務局 / 公益財団法人東山公園協会 動物会館 TEL052-782-2111(内線340)

東山動物園猛獣画廊壁画

No.1・No.2・No.3

動物園長の エッセイ

少し前のことですが、名古屋市美術館(中区伏見)の特別展で「東山動物園猛獣画廊壁画」が初公開されると知り足を運びました。この壁画は油彩で描かれたジオラマ的作品(縦1.4m、横5.4m)で、展示動物が少なくなった戦後の東山動植物園に数年間だけ飾られ、現在は同美術館が所蔵しています。

戦時中は、空襲などにより施設が破壊され、猛獣が市内に逃げ出したら危険との判断で、全国の動物園に処分命令が下されたことに加えて、暖房不足や餌不足などで、当園でも1942年(昭和17年)に294種1142点だった動物飼育数は激減し、終戦直後は、わずかに18種22点という状況でした。そのような中、当時あった中京新聞社(現在は廃刊)の提唱により、中部を代表する3人の一流画家によってこの壁画が描かれました。

極地(No.1)・熱帯雨林(No.2)・サバンナ(No.3)の環境と動物をテーマとした3部作は、それぞれ展示動物のいない旧カバ舎(爬虫類・河馬舎)のガラス展示部分に飾られました。本物の動物のいる現在は、美術作品を飾る必要はありません。戦争の影響がまだ残る荒廃した時期に、動物園に来園する子どもたちや市民のために、動物の見られない寂しさを少しでも補いたいとの思いから、当時の新聞社・芸術家・動物園関係者の協力によって実現したプロジェクトと知りました。再び絵画が動物に代わるような歴史が繰り返さないことはもちろん、動物園として“種の保全”のプラットホームという役割を果たす重要性を改めて感じたところです。

同美術館によると、3枚の絵は数センチの穴や絵の具の剥離・変色など傷みが激しいため、現在は収蔵庫で眠ってます。同美術館の開館35周年にあたる2023年(令和5年)にこの貴重な絵の再公開を目指して修復費を募っています。詳細は同美術館のホームページをご覧ください。

(動物園長 黒邊 雅実)





世界随一のメダカ専門水族館

「世界のメダカ館」がリニューアル!

1 はじめに

世界のメダカ館は平成5年にオープンして以来多くの皆様にご来館いただきましたが、メダカ科魚類の展示充実をより図るため、この度改修工事を行いました。インドネシアでの最近の調査や当園職員による新種発見等により、現在メダカ科魚類はアジアを中心に37種が確認されていますが、世界のメダカ館ではそのうち30種を保有しており、メダカ科魚類の保有種数世界一を誇ります。今回は、改修工事でリニューアルした館内をご紹介します。

2 改修工事について

工事は、令和3年2月9日から3月12日にかけて館内を休館して行われました。私たちが最初に着手した作業は、第1、第2展示室で飼育していたカダヤシ目の魚をすべて第3展示室へ移動させ、「カダヤシ目の魚たちコーナー」として整備することです。第1、第2展示室の空いた水槽34基内に入っていた砂利や石、流木などはすべて撤去して、新しいレイアウトで「メダカ科魚類の展示コーナー」としました。各水槽のレイアウトを作成するにあたっては、アジアに分布するメダカ類の生息地情報を基にして最適と思われるレイアウトを流木や水草などを植えながら、職員みんなで考えて一つ一つ完成させました。あまり凝ったレイアウトは、後々のメンテナンス作業が大変になるので、シンプルかつメダカたちの魅力を最大限発揮できるような水槽内景観を作成することに一番苦労しました。また、改修期間中は休館でしたが、私たちの通常業務はほとんど変わりません。通常の飼育業務に加えて開館に向けての準備を全力で行いました。



新しい水槽レイアウトの準備作業

3 充実したメダカ科魚類の展示室

改修工事が終了し、3月13日にリニューアルオープンしました。今まで卵胎生と、胎生のカダヤシ目の魚を展示していた第1展示室は、「アジアに生きるメダカたち」として、日本のメダカやアジア一帯に生息しているメダカ科魚類19種を展示する場所となりました。一番大きな展示水槽ではジャワメダカが1000匹以上群れて泳いでいる景観をご覧いただくことができ、私たち自慢の圧巻水槽となっています。そして卵生のカダヤシ目の魚を展示していた第2展示室は「メダカが湧き出るスラウェシ島」として、インドネシアのスラウェシ島に生息している固有種を中心にメダカ科魚類17種を展示できます。この島は、メダカのホットスポットと呼ばれ、近年新種メダカが相次いで発見されており、世界のメダカ館職員も現地調査を行い、新種を発見した場所です。スラウェシ島の紹介と共に、この島だけでたくさんの種類のメダカが生息していることが実感できる展示内容となっています。



ジャワメダカの展示水槽

4 科学展示コーナーもリニューアル

改装前までメダカ科魚類を展示していたコーナーは「科学展示室」としてリニューアルしました。日本のメダカに関する科学的な情報を紹介しており、突然変異^{とつぜんへんい}メダカや宇宙メダカ、メダカの生存を脅かす^{おびや}外来種、そしてメダカの生息地に暮らすタガメなどの水生昆虫^{すいせいこんちゅう}などを展示しています。また、簡単な器具を用意するだけでメダカの習性と行動が理解できるメダカの実験を紹介するコーナーも新設しました。メダカと水流の関係や、メダカの体色変化などが、映像でわかりやすく理解できるようになりました。



リニューアルした科学展示室



子供たちに大人気のタガメ

5 バックヤードもリニューアル

今回の改装工事に合わせてバックヤードも充実させました。メダカ科魚類を展示している水槽系に直接配管させて水槽を41個増設し、展示水槽に入れる準備段階のメダカを飼育しておけるようにしました。バックヤードでも展示水槽と同じ水質で飼育できるので、メダカを移動させる場合も水質を気にすることがなくなり、魚のストレスが最小限になったことでより生き生きとしたメダカたちをご覧いただけるようになりました。



バックヤードの増設された水槽

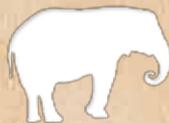
6 これからの世界のメダカ館

今回の改修では、どうしたら小さなメダカたちの魅力を伝えることができるのか、ということについて世界のメダカ館飼育スタッフみんなで討議を重ね、展示水槽のレイアウトはもちろんのこと、解説パネルや照明器具^{へんごう}の変更、そして各展示室に新設した生息地の様子等をご覧いただけるモニターなど、最大限の工夫を盛り込みました。改修前は17種のみだったメダカ科魚類の展示は、改修後には27種となり、そのほとんどが世界中の水族館の中でも世界のメダカ館でしかご覧いただくことはできない種です。しかし、これらのメダカたちの中には、生息地の環境^{かんきょう}が悪化し、絶滅危惧種^{ぜつめつぎくしゅ}に指定されている種も多くいます。一人でも多くの方に世界のメダカ館に足を運んでいただき、これらの小さな生き物たちが暮らす水辺の環境を守るために何ができるのか、私たち^{いっしょ}と一緒に考えていただけましたら幸いです。



各展示室に設置されたモニター

(飼育第二係3班 水野 展敏)



コアラの仔たちが 大きくなりました。

昨年8月27日に生まれたホリーの仔と9月3日生まれのりんの仔が、親の袋に入れなくなるほど大きくなりとても活発に動いています。当園では生後1年をめぐりに個体看板を作成・掲示しています。今年にはありがたいことに飼育頭数も順調に増えて、4月末現在、仔を含めると12頭になります。個体看板の額縁はブラザー工業株式会社からの寄付で作られています。ホリーとりんの仔の1歳の誕生日ま



看板



左:ホリーの仔 右:りんの仔

では新しい看板が増えると思いますのでお楽しみに!

飼育第一係1班
中山 哲男



アカコンゴウインコの 旅立ちとバードホールの今

4月からバードホール担当になりました。東山動植物園の長い歴史の中には古い獣舎もまだまだありますがバードホールもその一つです。開園当時の建物ではありませんが昭和45年(1970)にできた飛ぶ鳥を同じ空間で見ることが出来る施設です。触れ合う事は出来ませんが、静かに見れば鳥が近くに来ることがあります。なかなか間近で鳥を見る機会はないと思いますので、きれいな羽の一枚一枚を観察し

てみてください。

また、フライイングケージの横には大型インコを飼育展示しています。去年ふ化したアカコンゴウインコを4月にいしかわ動物園へ移動しました。いしかわ動物園でずっと人気者になっていることだと思います。北陸方面に行く機会がある方は、いしかわ動物園までぜひ会いに行ってください。



飼育第一係2班
小野 有宏



アジアゾウの ハンギングフィーダー

この度、動物園サポーター贈呈第24号として、ワルダーが使用している部屋にハンギングフィーダーを吊るすためのホイストクレーンが付きまして。サポーターの皆様、ありがとうございます!このクレーンはタイマー設定ができるので、クレーンにエサの入ったネットやタンクをセットしておくと、ゾウが夜間のエサを食べ終わり、時間を持って余している時を見計らって再びエサを入れることができます。

慎重派のワルダーは、急に見慣れないものが部屋にぶら下がっていると驚いてしまうことも予想されたので、慣らす目的でまずは設置予定場所に小さなバケツをぶら下げてみました。特に警戒する様子もないので、次に大きなタンクをぶら下げましたが、意外にこれも警戒する様子は見られませんでした。

これで一安心かと思いましたが、クレーンが付いて、いざフィーダーとして稼働させてみると、エサの入ったタンクが見えてはいるのに一切触らず、かなり警戒する様子が見られました。ワルダーがフィーダーに慣れるにはまだ少し時間がかかりそうです

が、早く慣れてもらい、毎日稼働させていきたいと思っています。



飼育第一係3班
戸嶋 康伸



ユーカリの香り

東山動植物園ではコアラの餌として約30種類のユーカリを栽培していますが、樹種ごとに見た目や香りが異なります。葉の形などがとても似ていて種の判定に困る際には、香りですべての樹種の判別を行います。多くの種類では爽やかな清涼感ある香りですが、中にはレモンのような強烈な香りをする樹種、スーッと鼻にぬけるような強い香りがする樹種、カレー煎餅のような香ばしい香りのする樹種などがあります。ユーカ



カレー煎餅のような香り *Eucalyptus macarthurii*

りは、芳香剤や虫よけ用品、癒しのためのアロマに利用されたり、ハーブティーなどで風味が楽しめるなど、コアラの餌以外に様々な形で活用されています。



レモンのような香り *Eucalyptus citriodora*

飼育第一係4班
氏家 雅人



強い心と術で

担当者に育てられ、群れに戻ったニシゴリラのアニーも今年の6月で8歳。もうすっかりサブアダルト(亜成体)です。リーダーであるシャバーニの庇護のもと、ここまで無事に成長してきましたが、不安なこと多かったことでしょう。特に祖母のネネとは折り合いが悪く、シャバーニも気苦労が絶えないようでした。とはいえ、アニーも決してやられっぱなしということはなく、持ち前の負けん気とシャバーニの後盾という強

かな防衛手段で、ネネと渡り合ってきたのです。こんなことがありました。その日も、ネネの攻撃に逃げ腰になりながらも応戦。いつものように騒ぎを聞きつけたシャバーニが飛んできてネネを押しさえ込むと、アイ、キヨマサも加わって上や下への大騒ぎ。30秒程で、覆いかぶさっていたシャバーニがスッとネネから離れると……そこには、どさくさに紛れネネの背中にかぶりつくアニーの姿が。騒動が収まっていることに気が付き、ハッと我に返るとちょっとバツが悪そうにシャバーニの隣へ。この後しばらくネネの怒りが収まらなかったのは言うまでもありません。



飼育第二係1班
伊東 英樹



グリーンバシリスク

みなさん、突然ですがグリーンバシリスクというトカゲを知っていますか? テレビなどで、水の上を走り抜けていく姿が紹介されることがあるあのトカゲです。成長すると60~70cm(尾を含む)にもなります。

実は、現在、バックヤードでこのトカゲを飼育しています。ただし、まだ展示することはできません。理由はまだ幼体だからです。

野生とは違い、ケージの中で飼育していくことになるので、驚くと壁やガラスに激突



してしまいます。なるべくそうならないように、まずは静かなところで飼育環境に慣らせていかなくてはなりません。

大きく育って環境に慣れてきたらご覧いただける予定ですので、それまでお待ちください。



ただ、あいきく水面を走るのは危険を感じて逃げるときなので、お見せすることができません。

飼育第二係2班
湯川 正幸



動物病院 日誌

Vol.56

引っ越しします。

このコーナーで幾度となく取り上げられた動物の引っ越し。またか、と思われる方もいらっしゃるでしょう。でも今回は動物ではなく動物病院の引っ越しのお話です。

以前の動物病院は昭和50年(1975年)に建てられました。建物の老朽化はもちろん、鳥インフルエンザなどの新興感染症への対応、検査・処置機器の更新、ネットインフラの構築など、時代に即した設備を整えるために建て替えることになりました。



旧動物病院前—シマウマ柄なのにモーモー鳴く、動物病院専用の通称救急車と一緒に撮影

検査装置、内視鏡、滅菌装置などの高額な医療機器、薬品や麻酔銃などの法律上の規制があるもの、標本室の貴重な標本は自分たちで運び出しました。事務所にあった40年分の、二度と手に入らない大切な動物園の資料や、スチール製の頑丈な(とても重い)オフィス用の家具類は、業者さんに運搬していただきました。



旧動物病院執務室—獣医学書、資料、関係書類に埋め尽くされ、天井からは電源やLANのコードがぶらさがる様子



旧動物病院内の処置室—LEDではない無影灯が時代を感じさせます

処置室、検査室からは手術台、麻酔器、生体モニター、レントゲン照射および検査装置、超音波検査装置、血液



現在—旧病院取り壊し跡地に新病院が建設されるため、プレハブのお世話になっています。

次回、「引っ越ししました。」をお届けできるまで1年半。それまでに乗り越えなければならない難関が数多く立ちますが、より良い動物病院を目指してがんばります!

(指導衛生係 田中 喜和子)

【動物取扱業登録】

名称:名古屋市、事業所の名称:名古屋市東山総合公園、事業所の所在地:名古屋市千種区東山元町3-70、動物取扱業の種類:展示、登録番号:第0701027号、登録年月日:2007年6月1日、登録の有効期間の末日:2022年5月31日、動物取扱責任者:黒邊 雅実

重要文化財 「名古屋市東山植物園温室前館」

重要文化財「名古屋市東山植物園温室前館」の保存修理と移植工事が完了し、令和3年4月23日、8年ぶりに一般公開を再開しました。温室前館は現存する日本最古の公共温室で、昭和12年の開園当時「東洋一の水晶宮(すいしょうきゅう)」と呼ばれていました。80年余の時を経て、洋風庭園を舞台に再び当時の姿を観ることができるようになりましたので、ご家族やご友人などご来園いただき、ゆったりとした特別な時間を過ごしていただければ幸いです。

温室前館について簡単にご紹介します。温室前館は西から①多肉植物室、②西花卉(き)室、③中央ヤシ室、④東花卉(き)室、⑤香りの有用植物室の5つの部屋に分かれています。①多肉植物室には、アフリカやマダガスカルなどの多様な多肉植物を展示しており、一對のみの葉を伸ばし続ける特異な形態を持つ「キノウテンガイ」やマダガスカル最大の種のひとつである「アアソウカイ」などのめずらしい植物を見ることができます。②西花卉室は、クラシックな鉢棚やモザイクタイルが特徴の展示室で、飾る鉢花は季節ごとに入れ替えます。③中央ヤシ室は、最も広い空間の部屋で、背の高くなるヤシ類や熱帯の高木を配植しています。この部屋には開園当時から残る13種のうち、「シンノウヤシ」や「ブーゲンビレア」など11種の植物や仏教の3大聖樹とされる「ムユウジュ」、「インドボダイジュ」、「サラノキ」も展示しています。④東花卉室は、おしゃれなコンサヴァトリー(建物に付随する居間を兼ねた温室)をイメージした展示室になっていますので、椅子に腰かけその雰囲気を楽しんでいただきたいと思います。⑤香りの有用植物室には、「バニラ」やタガログ語で“花の中の花”を意味する「イランイランノキ」など香りをテーマに植物を展示しています。

ご紹介したのは、温室前館の魅力のほんの一部ですので、直接ご覧くださり感じていただきたいと思います。今回は初めての寄稿となり、つたない文章で読みづらいところもあるかと思いますが、より一層、植物に関心を持っていただけるよう情報発信に努めてまいりますので、今後ともよろしくお願ひします。

(植物園長 岡本 誠)





植物管理人だより

私を忘れないで

「ヒスイカズラ」の花が7年ぶりに大きく咲きました!

温室後館^{うしろかん}のハワイアンハウスで今年の2月8日に開花して、約4か月に渡りたくさんのお客様を楽しませてくれました。

今年4月にリニューアルオープンした温室前館^{ぜんかん}の保存修理工事時に前館からバックヤードに移植後、しばらくは養生を行い、平成30年にハワイアンハウスに植栽をしました。今回の開花までに約7年の月日が経ちました。

「私を忘れないで」がヒスイカズラの花言葉で、鮮やかな翡翠色をした花房が次から次へと咲き、数日すると花の色は翡翠

色から^{むらさきいろ}紫色へと変化し、花は咲きはじめてから数日で落ちてしまいます。落ちた花は5cmほどの鋭い爪形^{つめがた}をしており、あちらこちらに散る姿さえ愛おしく、心に残る不思議な魅力^{みりよく}ある花です。

原産はフィリピン。沖縄など暖かい地方では路地でも育ちますが、その他の地域では栽培が難しく、温室で栽培されています。昨年は花がついたと喜んだら、大きくなる前にポロポロと落ちてしまい、見た瞬間に悲しくて膝から崩れ落ちてしまいました。

今年には花房の長さが90cm以上になるものもありましたが、来年も同じように来園したお客様に喜んでいただけるような開花



ヒスイカズラの花房



ヒスイカズラの花

を目指して丁寧な管理を行っていきたいと思います。

指導園芸係
熊崎 貴祥



梅雨時の花は…

梅雨時期は気分までジメジメしてしまいそうですが、この時期に植物園ではアジサイの花を見ることができます。

ところで、皆さんにアジサイの花を想像していただくと、花の色や形など様々だと思います。

アジサイの花色の違いは、酸性の強い土なら青みが強く、アルカリ性の強い土なら赤みが強くなります。また、花の形も色々あり大きくて丸い物や、少し地味なガクアジサイ系などがあります。大きくて丸い物は元々日本にあった原種のガクアジサイ系を海外で色々な品種に改良されて、再び日本に戻り人気が出たそうです。

アジサイの「花」とよく言っていますが、花に見られているのは「装飾花」と呼ばれる「がく片」です。

では本当の花はどれかと言うと、ガクアジサイ系で見ると中央にある雄しべと雌しべを備えた小型の両性花と呼ばれるところが本当の花(正常花)なのです。ですから、アジサイは正常花と呼ぶ本来の花より装飾花が目立ってしまっているのです。

園内では、アジサイ園、アメリカ産植物見本園、奥池付近、日本庭園及びお花畑から梅林(ウメの谷)に向かうスロープ等があり、場所の土の成分により色の違いや色々な種類があります。また、アジサイは花の色が日々微妙に移り変わることから七変化(しちへんげ)とも言われていますので、ジメジメとした梅雨時期ではありますが、日々変化するアジサイを楽しんでみてください。



緑地造園係
鈴木 翼



レッドリストとは、IUCN(国際自然保護連合)が刊行している、世界で絶滅の恐れがある野生生物種のリスト。各国の政府機関や地方自治体等で独自に作成している同様のリストもレッドリストと呼ばれる。日本の環境省レッドリスト2020において、1,790種(維管束植物)が絶滅の恐れのある種として掲載。

フウラン

分類：ラン科 ヒスイラン属

学名：*Vanda falcata* (Thunb.) Beer

分布：関東南部以西～琉球、朝鮮半島南部、濟州島、中国東南部



VU

2020環境省
レッドリスト

絶滅 (EX/EXTINCT)	絶滅が確認された
野生絶滅 (EW/EXTINCT IN THE WILD)	野生では絶滅した
絶滅危惧IA類 (CR/CRITICALLY ENDANGERED)	絶滅寸前の状態にある
絶滅危惧IB類 (EN/ENDANGERED)	近い将来絶滅する恐れが高い
絶滅危惧II類 (VU/VULNERABLE)	絶滅の恐れが高い

フウラン(風蘭)は、風通しの良い樹上に着生する小型のランです。東山動植物園では、植物園門の近くのヤマボウシの樹に着生させています。

江戸時代には大名たちが参勤交代のとき、駕籠先に吊るして花の香りを楽しんだという記録があり、江戸時代中期には、大名や豪商たちが珍しい品種に千金万金を投じた有名な植物です。学名を見られてあれっ、と思われた方もいらっしゃると思います。以前の学名は *Neofinetia falcata* (Thunb.) Hu でした。そして、フウランは、1属1種で、近縁と思われたのはアフリカとマダガスカルに自生するアングラエクム属でした。フウランだけが温帯で、しかも日本とその周辺のアフリカから遠く離れたところに、ぽつんと1種だけ自生することが謎とされてきました。遺伝子分析でとうとう東南アジアを自生地とするヒスイラン属(バンダ属)のなかまだと分かり謎は解けました。他人の空似だったのですね。

さて、*Vanda falcata* (Thunb.) Beer の学名から読み解けるのは、最初にフウランに学名を付けたのが、1775年にオランダ東インド会社の外科医として長崎に来たツェンペリーだということです。学名を追っていくと、ツェンペリーの著した『フロラ・ヤポニカ』に *Orchis falcata* の学名で登場する植物がフウランと位置付けられていることが分かります。しかし、『フロラ・ヤポニカ』には日本ではエビネと呼ばれていると書かれていてすっきりしません。伊藤圭介がこの『フロラ・ヤポニカ』を訳述した『泰西本草名疏』には、シーボルトが *Orchis falcata* をエビネとするのは間違いだとし、またフウランには、*Limodorum talcatum* Thunb. (*talcatum* は *falcatum* の誤植) の学名をあてた、と書かれています。ちょっと混乱しますね。整理してみますと、ツェンペリーは最初フウランに *Orchis falcata* Thunb. の学名を与えましたが、*Limodorum talcatum* (Thunb.) Thunb. として、*Orchis* 属から *Limodorum* 属に移しました。その後、何人かの学者が属を移し替え、Hu さんが移した *Neofinetia* 属が最近まで受け入れられてきたという流れです。そして、今日では、この可愛いフウランは Beer さんによって、東南アジアの華美なヒスイラン属(バンダ属)に移されました。

(植物園 三浦 重徳)

1. ノリウツギ *Hydrangea paniculata*

アジサイ科アジサイ属 見ごろ:7月~9月

茎から出る粘液が和紙製造の“のり”として使われていたことが名前の由来とされています。漢字で書くと「糊空木」。

アジサイの仲間であじさいに似ていますが、アジサイよりも遅い時期に開花します。お花畑には、ノリウツギの品種がいくつか植えられています。(ノリウツギは合掌線などでも見ただけです。)



2. アガパンサス *Agapanthus africanus*

ヒガンバナ科アガパンサス属 見ごろ:7月~8月

南アフリカが原産の植物です。南アフリカでは、公園や街路など様々なところに植えてあるようです。ギリシャ語の agape (愛) と anthos (花) が名前の由来とされています。花の色は青色だけではなく白色もあります。

(アガパンサスはお花畑以外にも宿根草園やバラ園でも見ただけです。)

3. ヒマワリ *Helianthus annuus*

キク科ヒマワリ属 見ごろ:7月ごろ

夏の花といえばヒマワリをイメージされる方が多いのではないのでしょうか。

令和3年度のお花畑夏花壇はヒマワリです。

令和2年はサルビアの花壇だったので、2年ぶりのヒマワリの花壇です。

◆お花畑花壇は、「花いっぱいプロジェクト」にご参加の企業・団体様のご協力をいただいている花壇です。



※写真は過去のお花畑花壇のものです。お花畑花壇は花の種類や品種が年によって異なります。お花畑は、植物園内で一番遠いところにありますが、夏の暑さにも負けず花を咲かせている植物が多数あります。今回ご紹介した植物をはじめとした花たちが皆さまをお待ちしております。ぜひお越しください。

洋風庭園リニューアル はな かざ 装い新たな花飾り



令和3年4月23日金曜日に、植物園温室前館と洋風庭園がリニューアルオープンしました。

洋風庭園では、温室を映す鏡池や噴水をはじめ、花飾りや植栽も装いを新たにしてお客様をお迎えしました。

オープン記念の寄せ植えなどの花飾りは、植物園の落ち着いた雰囲気^{ふんいき}を演出するために、大人っぽさとかわいらしさ^{あわ}を併せもった花たちでデザインされました。



オレンジ系



ピンク系



ブラック系

うえきばち



ブルー系

“カラーコーディネートされた、大型植木鉢の寄せ植え”

各鉢は、背景との色合わせでデザインされ、華やかながらまとまりのある落ち着いた寄せ植えになっています。



“ハンギングバスケット”

洋風庭園南側に新しくできたスロープ沿いには、おしゃれなハンギングの花飾りがお目見えしました。



“温室前館を引き立てる、グリーン系の寄せ植え”

ライムやシルバー色などのカラーリーフを組み合わせ、外観を邪魔しないデザインになっています。

洋風庭園の花壇や寄せ植えなどの花たちは、季節ごとに装いを変えながら、年数回植替えされます。

東山動植物園 ＊北園＊

大観覧車

名古屋の街を
みわたそう



遊園地

ジェットコースター

風を切って
走る!



●営業時間 10:00～16:50 (のりもの券の発売は16:40まで) 営業時間を変更する場合があります。

★アトラクション	利用料金	★アトラクション	利用料金	★アトラクション	利用料金	★アトラクション	利用料金
☆ミラーハウス	120円	☆モノレール列車	240円	☆大観覧車	360円	☆くるくるキリン	240円
☆ふしぎたんけんの館	240円	☆フラワーストーム	360円	☆ハニービー	240円	☆スロープシューター	360円
☆メリーゴーランド	240円	☆くまさんコースター	240円	☆ビックリハウス	240円	☆フライングイーグル	360円
☆ティーカップ	240円	☆コアラ列車	240円	☆ニューバイキング	360円	☆ジェットコースター	360円

*1Dayパスポート・お得なチケット及びアトラクションの利用制限等、詳しくはホームページをご覧ください URL :<http://www.higasiyama.jp/>

Café North Garden

カフェ ノース ガーデン



shop North Garden

ショップ ノース ガーデン



●ウサギソフト
¥380(税込)
(¥387)(税込)

※()内はイトイン価格です。



●コアラソフト
各¥380(税込)
(各¥387)(税込)



●コアラカレー
¥800(税込)
(¥815)(税込)



●レッサーパンダぬいぐるみ
L ¥4,400(税込)
S ¥1,840(税込)



●ネコ科
スライドミラー
各¥500(税込)



●ミニタオル
左 ジャングルキャット
右 ハフトウシ
各¥440(税込)

ひがしやま 56 号のクイズの答え

Q 三大香木と呼ばれるのは、夏のクチナシと秋のキンモクセイとあと1つは何でしょう。



- ① ジンチョウゲ
- ② カラタネオガタマ
- ③ チョウジガマズミ

A 正解は
① ジンチョウゲ
でした。

裏表紙/あじさい

植物園で、あじさいを愛でるには、洋風庭園から園路(合掌線)を北へ進むと奥池があり、奥池の北西側にアジサイ園があります。約50種のあじさいたちがたたずんでいます。

(撮影・市野 実/文・石川 和之)

ひがしやま
57号 2021 夏

発行所/公益財団法人 東山公園協会
〒464-0803 名古屋市千種区田代町字瓶权1-62
TEL 052-782-2111(内線340)

協力/名古屋市東山総合公園
発行日/令和3年6月23日



あじさい

H I G A S H I Y A M A

Summer
2021

ひがしやま 57

名古屋市東山動植物園情報誌